



# 王桜中だより

第12号 令和6年3月

北区立王子桜中学校  
校長 吉原 健

## 『間』から生まれるもの

校長 吉原 健

私がまだ幼い頃は、両親の仕事の関係であまり家族での旅行に行けませんでした。そんな私の記憶に強く残っているのは、小学4年生のときに生まれて初めて寝台列車に乗って大阪に旅行に行った時のことです。幼い妹と二人一緒に寝台車の狭いベットに寝転びながら、出発の時を心をワクワクさせながら待っていました。ようやく列車が静かに駅のホームを滑り出すと次々と過ぎていく夜の街の灯を、いつまでも飽きることなく眺めていたことを思い出します。肝心の旅行の中身はほぼ忘れていながらも関わらず、寝台車の中から妹と眺めた夜の街の灯を覚えていることが自分でも不思議です。このときの経験は私にとって宝物のような時間でした。

さて、精神科医で作家のきたやまおさむさんは最近の著書の中でこう書かれています…。

『私たちは本来、常に『間』に囲まれています。(中略)意味のない言葉や情報を氾濫させることは、時間的な『間』を必死に埋め、また相手の反応を引き出すことで、相手との間にある空間的な『間』をも必死に埋めようとする行為です。』

現代社会は、『間』が生じることを許さず、ともすると『間』があってはならないと考える社会に生きているといえます。結果や生産性が求められる現代にあって、遊びや『間』が無駄として排除されることはとても息苦しい…ときたやまさんは訴えます。

私はこのことは子どもたちの学びや体験にもあてはまるのではないかと考えています。公式やきまりを使って、最短で正解を導く効率的な方法を先生から教わる勉強もあるかもしれませんが、自分自身で問いをもち、試行錯誤しながら、時間をかけて物事の真理を追究しようとする学びにも大切な意味や価値があるはずです。自分の力で「なるほど、そうか!」と納得したり、「やっとわかった!」と遠回りしながらも自ら発見する喜びを味わうことが、生涯にわたって学び続ける原動力になると信じています。

かつて携帯やスマホもなかった時代には、もう少し緩やかな寄り道や道草が保障されていたような気がしてなりません。そうした遠回りの途上に思いがけない発見や出会いがあって、私たちは自分を豊かにしてきた側面もあったはずで。そうした意味では、時に『間』や『余白』のもつ価値を私たち教師が意識しながら、子どもたちの豊かな学びを支えていくべきだと考えています。かつて、携帯やスマホもなく、寄り道や道草が保障されていた頃、遠回りの中にこそ新しい出会いや自分を見つめ直す時間があったと思います。いまの子どもたちにも『間』がもつ素晴らしい意味を感じ取って欲しいと願っています。

参考図書:『むなしさ』の味わい方(きたやまおさむ著) 岩波新書

## 3月の行事予定

日	曜日	3月行事予定	日	曜日	3月行事予定
1	金	都立高校合格発表 避難訓練(小中)	15	金	卒業式予行 職員会議 部活動再登校
4	月	全校朝礼 2年到達度テスト	18	月	在校生送別式 卒業式準備 部活なし
5	火	専門委員会	19	火	第19回卒業証書授与式 部活動再登校
6	水	3年特別時間割始	20	水	春分の日
7	木	中央委員会	21	木	1,2年保護者会 14:30～ 部活動再登校
8	金	3年卒業遠足	22	金	1,2年球技大会
11	月	生徒会朝礼 1,2年卒業式練習(午後)	25	月	修了式・小学校卒業式 部活動再登校
12	火	1,2年 ESAT-J 定時退勤日(部活動なし)	26	火	春季休業日始(~4/5)
13	水	学年会 部活動再登校			
14	木	小野ゆかりさん講演会(午後)	4/8	月	令和6年度始業式・小学校入学式

# 学校評価アンケート結果から



昨年12月に実施した学校評価アンケート(生徒・保護者対象)の結果がまとまりました。保護者の皆様には、アンケートへのご協力ありがとうございました。令和6年度の学校運営と教育活動の充実に役立ててまいります。詳細は学校ホームページをご覧ください。

## 【学校生活は楽しいですか？】

93.9%の生徒が「とても楽しい、楽しい」と回答していました。今年度は行事や部活動への制限や制約が緩和され、多くの保護者や地域の方の参観も可能になったため、生徒が一層の充実感や達成感を得ることができたことが要因だと考えています。今後も生徒自身が自主的に創り上げる活動を大切に、物事をやり遂げた達成感や成就感、仲間と協働する楽しさや喜びを実感できる教育活動を充実させてまいります。

## 【悩み事や困り事があるときに周りの人に相談したり、助けを求めたりしていますか？】

83.7%の生徒から肯定的な回答を得ました。今年度は周りの人への援助要請の大切さを学ぶ「SOSの出し方講習会」を全校生徒向けに行いました。また日々多くの教員が休み時間や昼休み等に生徒のそばに寄り添う機会をつくっています。今後さらに生徒一人一人が気軽に相談できる安全・安心な校内の環境づくりに努めてまいります。



## 【友達と楽しく過ごすことができているですか？】

97.1%の生徒が「とてもできた、できた」と回答しました。授業や学校行事等での仲間との学び合いや協働的な活動が生徒同士のよりよい人間関係の醸成につながっていると捉えています。しかしSNSに関連した友人関係のトラブルも数件発生しています。今後も家庭との連携を深め、多くの教職員の目で一人一人の生徒を見守っていききたいと思います。

## 【きたコンの活用や対話的な学びが学習内容の理解につながっていますか？】

83.7%の生徒から肯定的な回答を得ました。[きたコン]導入3年目となり、各教科の特性に応じて授業の中で効果的に活用する場面が増えてきました。また[きたコン]の不適切な使用も年々減り、学習道具の一つという意識をもって生徒が使っている姿が見られます。今後は、家庭学習における[きたコン]の活用を進めてまいります。

## 【保健室やカウンセリング室は、生徒の心身の成長に役立っていると思いますか？】

85.2%の保護者が「そう思う、どちらかというと思う」と回答しており、昨年度より7ポイント増加しました。保健室やカウンセリング室は、生徒のSOSをキャッチする重要な場所となっており、きめ細かな支援体制を整えていくよう引き続き努力してまいります。

## 【給食は栄養のバランスを考えて実施されていると思いますか？】

98.7%の保護者が「そう思う、どちらかというと思う」と回答しています。今年度は、4年ぶりに給食試食会を行い、多くの保護者に試食して頂いたことも学校給食への理解と信頼を得るきっかけになったと考えています。今後も引き続き安全で美味しい給食を提供していくよう努力してまいります。

## 【学校・学年だよりやブログ等で保護者に適切な情報提供がされていると思いますか？】

93.6%の保護者が「そう思う、どちらかというと思う」と回答しています。今年度からは、[まなびポケット]による保護者への連絡や学校文書の配信を増やしました。宿泊行事における生徒の活動の様子も[まなびポケット]での配信を試みました。今後も学校情報の積極的な発信に努め、学校教育への理解と協力をお願いしてまいります。

## お知らせ

- 吹奏楽部 東京都中学校アンサンブルコンテスト 銅賞
- 北区立中学校書き初め席書会  
国語・書写研究部長賞 2-2M.Aさん
- 小野ゆかりさんの講演会が行われます!



3月14日(木)午後に、王子桜中の校歌の作成者の小野ゆかりさんにご来校いただき全校生徒を対象とした講演会を予定しています。小野ゆかりさんは北区のご出身でシンガーソングライターとして活躍されていました。王桜中生に親しまれ愛されている校歌「君がそこにいるから」を作られたときの想いやご苦労についてお伺いしたいと思います!